

# 2月28日(土)、日比谷公会堂での集会、都立の大学を考える都民の会「主催」 東京都の教育「改革」で、いま起こっていること、これでいいのか？都立の大学「改革」に 参加の2000人が都立の大学「改革」に憂慮の声！

石原知事は、新大学に「文学は要らない」と言っている。なぜ「こはの専門家たちを排除するのか。それは、彼らが嘘をついているからだ。こはの専門家には行政文書に隠された嘘が丸見えだ。武器、権力、金を持たないわれわれの人間としての力はこはなのだ。(小森陽一氏の発言から)



- 集会アピールより
- つぎのような大学づくりを東京都と都立の大学に要望します。
- (1) 学生、大学院生、教職員の意見を反映させた大学づくりをおこなうこと。
  - (2) 短大夜間部・都立大夜間部(B類)が積み重ねてきた、社会人・勤労学生への大学教育の機会を充実・発展させること。
  - (3) 多くの人が学べるように授業料を安くすること。
  - (4) 障害者の大学教育の機会を充実させること。
  - (5) 父母・都民に対して積極的に情報を公開し、都民に開かれた大学づくりを行うこと。

## 2000名の参加者から石原都政の大学・教育破壊に批判の声相次ぐ！

2月28日、日比谷公会堂を埋め尽くした2000名の参加者から、石原都政の大学・教育破壊に対する強い批判・懸念の声が大きく沸き起こりました。以下カット内は参加者のアンケートから。

『学問の自由は、大学の自治が保障されてこそ成り立つものです。戦後の現憲法に認められた当然の権利が、自治体の首長によって公然と奪奪されようとしています。戦後民主主義の制度の根幹が破壊されようとしています。都立大学がつぶされようとしていることに強い憤りを感じます。』

都立の大学の卒業生からも、母校への攻撃に対する怒りの声が上がっています。

「報告をおききするにつれ、暴挙に怒りがわきました。豊かな学生時代を送れた大学を、存続させたいです。民主主義が全く無視されており、どうにかしたいです。微力ながら、この声をまわりに伝え、大きな力にしていき、都の動きを止めていきたいです。」

また、都のさまざまな部門で働く方々からの報告で、大学「改革」にとどまらず、教育・文化・医療・福祉などを切り捨て、反論・批判を許さない現石原都政の姿勢が浮き彫りになりました。

「今日の会で、教育関係のみならず、都警、都の医療、図書館など、全ての場で起こっている問題が、すべてつながっていることがはつきり見えました。」

「石原都政が何を自指そうとしているのか。防災訓練に自衛隊を加え、女性・障がい者への差別発言を行う。そして今度は、教育介入に足を踏み入れ、最後に軍国化への大きな一歩をこの東京から進み出そうとしている。自治と自由、民主主義、そして平和はだまっけては守れない。良識ある都民の声を大きく広げて、都政を私たちの手に取り戻そうではありませんか。」

都立の大学の将来を憂慮する2000名の参加者の声に耳を傾け、よりよい大学をつくるために大学教職員、学生、都民と美りある対話を行う姿勢が、東京都に対して強く求められています。

文責東京都立大学・短期大学教職員組合。アンケートは、「都立の大学を考える都民の会」のホームページ(<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Lounge/31113>)から。

# 首都大学東京は今のままでは 今までの日本にならない まったく いびつな大学？！

都立の4大学(都立大学、都立短期大学、都立科学技術大学、都立保健科学大学)を廃止し、新しい大学(首都大学東京)を設置するという都立の大学「改革」が推し進められています。この「改革」で都立の大学は本当によくなるのでしょうか？

## 都立4大学の「金になる」ところだけ「つまみ食い」してあとは切り捨て？！

石原知事が昨年8月の記者会見で「都立新大学構想」を突然発表して以来、東京都・大学管理本部は新大学構想を強引に推し進め、来年4月には「首都大学東京」を出発させるとしています。しかしながらこの「大学改革」は、産業奉仕の色合いの強いIT・ナノテクなど一部の「金になる」分野だけに重点を置き、広範な基礎科学や人文科学などすぐには「金にならない」分野の教育・研究は切り捨

ててしまおうという「大学リストラ」です。都立の大学が短期的な金もうけの道具に利用されることになれば、都民の財産とも言うべき充実した教育・研究体制や、大学がはぐくんできた多様で豊かな文化が破壊されてしまいます。4大学の多くの教員が「もっと豊かな内容の新大学を」と対案を示して都庁との協議を望んでいるのです。

## 任期制・年俸制の導入は「頭脳流出」による「大学破壊」を決定的にする！

都・大学管理本部は、新大学の教員すべてに「任期制・年俸制」を導入したい、という意向を表明しました。教員任期制の一律導入は「大学の教員等の任期に関する法律」に照らしても違法の疑いが強いものです。知事は任期制・年俸制の導入は教員の活性化につながると言っていますが、それは真っ赤な嘘です。この制度では、知事や都庁の気に入らない教育や研究をする教員は3~5年ごとの再任拒否や毎年の年俸ダウンを迫られることになりかねませ

ん。そのような状況では10年後、20年後を見据えた教育・研究にじっくり取り組むことは不可能で、将来有望な若手教育・研究者が育たなくなり、優秀な人材の「頭脳流出」を招くことは確実です。事実、法科大学院に参加予定だった4教員が「新大学構想」に抗議して辞意を表明するなど、人材流出はすでに始まっています。いつ指導教員が辞めるかわからないような制度になってしまったら、学生から見ても魅力のない新大学となるのは明らかです。

## 学生から不満・批判が続出、受験生の支持も失いかねない新大学構想！

都立大の学生が行ったアンケートで、「新大学構想」に反対と答えた学生は86.5%に達しています。学生・院生の集会でも、学生の意見を聞こうとせず、説明責任を果たさない都・大学管理本部に対して不満・批判が続

出しました。また、都立大の大学見学会で高校の進路指導担当教員からも「新大学構想」に批判的な意見が相次ぐなど、これまで受験生からも高い評価を受けてきた都立4大学の実績を、いっきにぶち壊すことになりかねません。

## 東京都立大学・短期大学教職員組合

〒192-0397 八王子市南大沢1-1 委員長 山下 正廣  
TEL: 0426-77-0213 FAX: 0426-77-0238  
ホームページ: <http://www5.ocn.ne.jp/~union-mu/> e-mail: [union@apricot.ocn.ne.jp](mailto:union@apricot.ocn.ne.jp)

石原都政による一方的な大学・教育の破壊・切り捨てに私たちは反対し、教職員・学生・都民に開かれた協議にもとづく民主的な新大学づくりを求めています。

皆様の声を右記へお届けください！  
(東京都立大学・短期大学教職員組合 作成連絡先リスト)

東京都議会文教委員会委員: <http://www5.ocn.ne.jp/~union-mu/bunnkyomen.htm>  
参議院文教科学委員会委員: <http://www5.ocn.ne.jp/~union-mu/sanbunnkyomen.htm>